

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	城南児童発達支援センター（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年1月20日		～ 2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年1月20日		～ 2026年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内で複数の障害福祉サービスを運営しており、幼児期から高校・高等部卒業後の就労移行する支援、その後の地域生活する支援まで、柔軟な支援体制が整備されている。特に、併設の認定こども園卒園児への対応については、長期的な視点で支援ができる体制にある。	小学生の児童については、児童指導員の見守りの元、認定こども園の低年齢児の遊び相手になったり、中・高校生の場合は、将来の就労を意識した活動内容にするなど、児童の発達段階と年齢に応じて、活動内容を工夫している。	幼児期からキャリア教育を進め、将来自立するために必要な職業教育や実践的な生活支援まで、長期的な視野で定着支援することを前提として、法人内他サービス事業所での研修や、専門的な外部研修の受講を計画的に進め、サービスの質の向上と充実を図る。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	併設事業所を含む、多数の職員が関わるため、支援方針や具体的な支援方法の統一が必要である。	サービス提供時間が長時間であるために、職員の勤務時間帯が同一ではないことから、日々のミーティングに出動している全職員が参加できない。その結果、日々変化する対象児童の心身の状態の変化に応じた支援方針や具体的な支援方法の細かいすり合わせが不十分である。	・ミーティングに際しては、効果的に共通理解を図ることができるよう、的を絞って実施する。 ・月1回の全体の職員会議において、その時点での支援方針と具体的な支援の方法を周知する。 ・記録のICT化により、対象児童の状態や支援内容の時系列での変化を見える化する。
2	保育室以外に細かく区切られたスペースが少なく、バリアフリー設計でない箇所が多い。	事業所の建物が、築年数20年超の旧保育所である。	・建物の内部改装を予定しているため、それに併せて、バリアフリー化が必要な箇所を改修する。 ・パニックになった時など、利用児童が自らの意思で一人になりたいと思った時の避難場所となり得るスペースで、安全が確保され、且つ、職員が見守りできる場所を作りたいと考え、その方法を模索中である。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		城南児童発達支援センター（放課後等デイサービス）		公表日		2026年2月28日		利用児童数		5		回収数		5	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応							
									環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1	0	0
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1	0	1	支援の充実のためにも、人数が足りないと思う。	個別の支援計画を立てて、適切に保護者に説明し、対応する職員の人数に対しても配慮していきます。							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1	0	0	0歳児の時から利用していたため、構造的にはわかりやすいと思う。情報伝達のための配慮となると、なんとも言えない。	定期的な面談等を受け、障害特性に応じた適切な情報伝達等ができるように配慮していきます。							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	5	0	0	0	清潔にされていて良いと思う。								
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	1	専門性のある支援について、実際に見たり聞いたりできていないので、わからない。	定期的な面談等の中で、個別の支援計画を基に障害特性に係る指導について丁寧に説明していきます。							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	1		定期的な面談等の中で、個別の支援計画を基に障害特性に係る指導について丁寧に説明していきます。							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	0	保護者に確認の上、作成されている。好きなこと、苦手なものなど、障害の特性にあった支援を受けられていると思います。集中力が必要な活動の他にも、屋外での活動など、様々な支援を計画、実施していただいています。トイレやお風呂など、自立に向けたサービスもあるので、ありがたいと思っています。								
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	2	そこまで確認できていない。	個別の支援計画を基に、項目ごとに丁寧に説明していきます。							
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	1	何をしたのか、報告が無いので、計画通りなのかわからない。	個別の支援計画を基に、支援内容に沿って丁寧に説明していきます。							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	0	0	1	何をしたのか、具体的に聞けていないので、わからない。	個別の支援計画を基に、丁寧に説明していきます。							
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	1	1		園行事やイベントを通して、地域の他の子ども達と交流できるような機会となるように努めます。							
保護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0									
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	1		定期的な面談を行い、個別の支援計画を基に、支援内容について丁寧に説明していきます。							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	2	1	今後あるとすごく良いと思う。	家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会を計画し、保護者の皆様への支援が反映できるように努めます。							
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5	0	0	0	0歳児からみていただいていたので、時折、状況を話していた。								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1	1	0	面談はしていないが、気になることがあれば、その都度、助言をもらっている。	日々の指導内容と指導経過等については、保護者に引き渡す際に支援内容を申し送りして、情報共有に努めます。							

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	城南児童発達支援センター（放課後等デイサービス）					公表日	2026年2月28日		
						利用児童数	5	回収数	5
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
保護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	0	0	0				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	1	1	併設こども園の、きょうだいが所属しているクラスの子もたちと一緒に遊ぶなど、話を聞いていて、楽しそうです。	保護者会はございませんが、園行事やイベントを通して、きょうだい同士の交流がもてるよう、今後とも努力して参ります。		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1	0	0	非常に丁寧に対応いただけていると思う。			
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1	0	0	風除室でのやりとりがメインになるので、他の保護者にいろいろ聞かれやすく、難しい。			
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1	1	0	3	自己評価の結果がどれかわからない。			
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	1	0	1	風除室でのやりとりがメインになるので、他の保護者にいろいろ聞かれやすく、難しい。	個人情報に係る内容については、風除室でなく支援センター等で個別に対応していきます。		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1	1	0	保護者が見れるように、風除室に貼っておくのもよいと思う。			
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	1	子どもからも定期的に訓練の話聞き、対応の仕方を聞くので、良いと思う。	毎月の防火設備の安全点検や定期的に避難訓練を行い、安全に避難できるよう今後も努めて参ります。		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	1	0	1	単純に、職員が少なく、先生方が大変そう。もっと人数が確保できるような先生方への支援も行えば、子供の安全につながると思う。	活動内容等によって、職員の支援体制を考え、児童の安全第一に努めて参ります。		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	0	電話や連絡帳で情報共有できています。			
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	0	特定の先生に会いたくて、楽しんでいい時が多々ありました。特定の先生が迎えに来てくれるとわかると、安心して移動できるようです。			
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	0	0	0	特におやつが楽しみで、イベントがある日は、特に行きたがっております。活動した内容を教えてくれ、楽しんでいる様子が伺えます。			
	29 事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0	先生方は大変良く対応していただいているので、人数が確保されることを願います。丁寧な対応をしてくださり、大変助かっています。			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	城南児童発達支援センター（放課後等デイサービス）				公表日	2026年2月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	○個の実態に合わせた内容で、部屋を設定して対応している。○法律に則ったスペースを確保している。	×利用日によって過ごせる場所が限られることが多い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2		×バリアフリー化されていない部分が多く、今後の課題である。○車椅子の児童が利用できる手すりがある。今後部屋等の改修を進めていく予定。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	○職員同士の連携を図り、見守りができる環境になるよう、心がけている。	×個別対応が必要な場面で、使用できる部屋が不足している。今後部屋等の改修を進めていく予定。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	○園会議の中で全職員に対して児の障害特性や支援内容を説明し、共通理解ができるようにしている。	×限られた職員での業務となっているため、全職員が共通して理解・把握できるようにしていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	○情報収集された内容を業務改善にできるように支援内容を整理しながら支援につなげている。	×第三者による外部評価を行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	○スキルアップ研修を実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	○ホームページで公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	相談支援事業所の計画を基に、情報共有しながら、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	日々のミーティングと、月に一度の職員会議で共通理解を図っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	職員会議で共有されて、個人ファイルにて個人記録と併せて閲覧できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	基本的な項目に沿った、統一されたアセスメント様式を使用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	項目に沿った児童発達支援計画と併せて、職員間で具体的な支援内容・方法がわかるよう、時系列のマニュアルを作成して、共有している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	○定期的に会議を開催し、プログラムを作成している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	城南児童発達支援センター（放課後等デイサービス）			公表日	2026年2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	子どもの発達や様子に合わせて見直す機会を設けている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	〇個々のニーズを大切に活動内容を考えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	〇個人記録の記入や情報共有を実施している。〇支援後1日の振り返りを行うようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	〇細かく記録をとり、振り返り、問題を共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	〇担当者がモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	画一的にならないように、子どもの状態に合わせて支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	宿題以外は、その日にやりたい活動を自己選択できるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	〇関係機関での会議を開催している。〇担当者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	保護者や関係機関と連絡を取り、支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	学校とは毎月の行事予定表をもらい下校時刻の確認を行っている。また、指導上に問題がある時には、ケース会議等を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	併設の認定こども園卒園児については、元担任と情報共有した上で支援している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	実績なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	〇併設こども園園児や、イベントを通して卒園児と交流する機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	〇法人代表として事業本部長が出席している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時の会話の他、必要に応じて相談の機会を設け、共通理解を図っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		×今後の課題である。家庭支援プログラムの専門的な知識を習得し、家族支援に反映できるように外部研修を進める。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	城南児童発達支援センター（放課後等デイサービス）			公表日	2026年2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	○契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	連絡ノートや面談の実施によって、随時対応している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	初回計画の内容と変更点がある場合は、前回評価と今回の変更点について説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	連絡ノートや保護者からの相談から面談をの実施して、随時対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	2	○イベントを通じて、保護者やきょうだい同士で交流する機会を設けている。	×保護者会は設けていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	○苦情があった場合、受付担当者・責任者が適切に対処する体制がある。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	「マチコミ」を活用して配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	○契約時に説明している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	「マチコミ」を活用して配信している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	保護者に限らず、併設認定子ども園の卒園生や中高生など、近隣住民も参加できるようにしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	契約時に重要事項説明に沿って説明している。また、訓練については年間指導計画を立てて、実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	同上	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	○契約時に確認している。○書類が整っており、確認できるようになっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	学校生活管理指導表や医師の指示書に基づき、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画の周知と必要な研修と訓練を計画的に実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	契約時に重要事項説明書に沿って説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	○ヒヤリハット報告書を作成し、共有している。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	法人単位で虐待防止に関する指針を定め、定期的に事業所内外研修を実施している。		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	城南児童発達支援センター（放課後等デイサービス）	公表日	2026年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	契約時に保護者に説明している。また、やむを得ず身体の高速を実施する場合の書式や同意書を整備している。	